

**観点別学習状況の評価 教科：【 国語 】 科目：【 言語文化 】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができている。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
主体的に学習に取り組む態度	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校までの内容を十分理解できていない。</li> <li>・黒板を丁寧な字で写せない。</li> <li>・教科書や辞書で語句の意味などを調べられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の基礎的内容を理解できる</li> <li>・自ら教科書や書籍、辞書、インターネット等で情報を収集することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な知識を身に付け、実生活の中で活用できる。</li> <li>・必要な疑問点などについて、何をどう調べればよいか分かる。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の話を聞き、理解することができない。</li> <li>・自己の考えをまとめ、相手に伝えることができない。</li> <li>・学んだことや知り得た内容を要約できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の発言を踏まえて自分の意見を述べるができる。</li> <li>・相手に伝えたいことを自分の言葉で表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の意見を踏まえつつ自分の意見を適切に表現することができる。</li> <li>・伝えたいことを自分の言葉で分かりやすく表現することができる。</li> <li>・情報の信ぴょう性を判断できる</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語文化について学ぼうとする姿勢が見られない。</li> <li>・他者を理解し、尊重することができない。</li> <li>・与えられた課題などに取り組むことができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通して言語文化について学び、理解しようとしている。</li> <li>・与えられた課題などについて、他者と協力したり、自ら調べたりして取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語文化について学んだことを生涯にわたる社会生活の中で生かそうとしている。</li> <li>・自ら課題を見つけ、他者と協力して解決に当たることができる。</li> </ul>

**観点別学習状況の評価 教科：【 公民 】 科目：【 現代の社会 】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	考察・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	現代の諸課題について、考察したり、公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れ構想したことを議論することができる。
主体的に学習に取り組む態度	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を備えている。

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論することができる。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を備えており、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めている。

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	現実社会の諸課題について、高校レベルの教科書の基本的な内容を読み取ることができず、理解していない。	現実社会の諸課題について、ワークシートや教科書の掲載資料を読み取り、理解している。	現実社会の諸課題の解決に向けて、教科書だけでなく書籍、インターネットで情報収集した資料を関連付けて理解している。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題について、発言はできるものの、相手に伝えたいことを自分の言葉で表現することができない。	現実社会の諸課題について、資料を基に概念や理論に着目して考察し、相手に伝えたいことを自分の言葉で表現することができる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、合意形成や社会参画を視野に入れながら、事実を基に多面的・多角的に考察し、考えたことを議論することができる。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚はあるものの、よりよい社会の実現に向けて主体的に考えようとしていない。	現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚し、主権や他者を尊重しながら、よりよい社会の実現に向けて主体的に考えようとしている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、他者とともに共同して取り組み、よりよい社会の実現のための自らの将来の役割について主体的に探求している。

**観点別学習状況の評価 教科：【数学Ⅰ】 科目：【数学Ⅰ】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	高校における基礎的な内容や公式、法則について理解しておらず、計算を処理できない。	高校の基礎的な内容や公式、法則を理解し、簡単な計算や問題を処理できる。	基礎的な内容を活用した問題等を理解できる。また、公式等について、成り立ちや意味を理解できる。
思考・判断・表現	問題文から必要な情報を読み取ることができず、また計算の過程を書くことができない。	問題から必要な情報を読み取り、式にすることができる。また、計算の過程を自分の言葉で表現することができる。	問題に対して、式や結果を予想し、確認することができる。また、自分の考えを他者に説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしていない。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、解法の過程を振り返ってより良い手法を粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。

**観点別学習状況の評価 教科：【保健体育】 科目：【 体育 】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けている。
思考・判断・表現	健康や安全について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するととも他者に伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深くい味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の技術の名称やルールを理解していない。</li> <li>・各種の運動に用いられる基本的な技能が身につけていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の技術の名称やルールを理解している。</li> <li>・各種の運動に用いられる基本的な技能が身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術と関連させた運動や練習を繰り返すことが体力向上につながることを理解している。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の話を聞き、自分の考えを他者に伝えることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や仲間の課題や練習方法について伝えることができる。</li> <li>・よりよいマナーや行為（所作）について振り返ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・安全を確保することができていない。</li> <li>・他者と協力し準備や片付けなど自主的に取り組むことができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。</li> <li>・自主的に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</li> <li>・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとすることができる。</li> </ul>

**観点別学習状況の評価 教科：【保健体育】 科目：【保健】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けている。
思考・判断・表現	健康や安全について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するととも他者に伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進とそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健の基礎的内容を理解していない。</li> <li>自ら情報収集することができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健の基礎的内容を理解できる。</li> <li>自ら教科書やインターネット等で情報を収集することができる。</li> <li>調べた内容を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健の基礎内容を基に自己や社会の課題把握と解決方法の模索に活用できる。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の話を聞くことができてない。</li> <li>自己の考えを発言できていない。</li> <li>学んだことや知りえた内容を要約することができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の発言を踏まえて自分の意見を述べるができる</li> <li>相手に伝えたいことを自分の言葉で表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題及び解決するための対策について、学習したことを基に、身近な社会生活と関連付けたり、理由を付け加えたりしながら具体的に説明することができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健の学習について主体的に取り組むことができていない。</li> <li>他者を理解し、尊重することができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の意見や話し合いを通して、自分の考えを改善したり、参考にするができる。</li> <li>保健の学習について主体的に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した知識と実生活や社会全体と結び付け、試行錯誤しながら粘り強く取り組むことができる。</li> <li>他者と共同して課題解決に取り組むことができる。</li> </ul>

観点別学習状況の評価 教科：【 英語 】 科目：【 英語コミュニケーションⅠ 】

【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】

知識・技能	○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。
思考・判断・表現	○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。
主体的に学習に取り組む態度	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自立的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】

知識・技能	「知識」「英語の特徴やきまりに関する事項」を理解している状況の評価する。 「技能」・「聞くこと」「読むこと」話されたり書かれたりする文章等を読みたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている状況の評価する。 「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている状況の評価する。
思考・判断・表現	・「聞くこと」「読むこと」 必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えている状況の評価する。 ・「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」 情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている状況の評価する。
主体的に学習に取り組む態度	「主体的に学習に取り組む態度」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況の評価する。 ・「聞くこと」、「読むこと」 話されたり書かれたりする文章等を読みたり読んだりして、必要な情報を読み取りたり読み取ったり、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えようとしていたりしている状況の評価する。 ・「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」 情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしている状況の評価する。 ・言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えている状況についても、特定の領域・単元だけではなく、年間を通じて評価する。

【観点別評価基準】

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の特徴やきまりに関する事項を理解できていない。</li> <li>話されたり書かれたりする文章等を読みたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けていない。</li> <li>情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の特徴やきまりに関する事項を理解できている。</li> <li>話されたり書かれたりする文章等を読みたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。</li> <li>情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の特徴やきまりに関する事項を理解でき、実際のコミュニケーションにおいて活用できる。</li> <li>話されたり書かれたりする文章等を読みたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付け実際のコミュニケーションにおいて活用できる。</li> <li>情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付け実際のコミュニケーションにおいて活用できる。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を読み取り、概要や要点などを捉えられない。</li> <li>情報や考え、気持ちなどを、表現できない。</li> <li>自己の考えを発言できない。</li> <li>学んだことや知りえた内容を要約できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を読み取り、概要や要点などを捉えられる。</li> <li>情報や考え、気持ちなどを、表現できる。</li> <li>自己の考えを発言できる。</li> <li>学んだことや知りえた内容を要約できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を読み取り、概要や要点などを捉えられ実際のコミュニケーションにおいて活用できる。</li> <li>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを、表現できる。</li> <li>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合える。</li> <li>学んだことや知りえた内容を要約し、伝えることができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしない。</li> <li>概要や要点などを目的に応じて捉えようとしていない。</li> <li>情報や考え、気持ちなどを、表現したり伝え合ったりしようとしていない。</li> <li>他者の話を聞けない。</li> <li>自己の考えを発言しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>情報や考え、気持ちなどを、表現したり伝え合ったりしようとしている。</li> <li>他者の話を聞くことができる。</li> <li>自己の考えを発言することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いて主体的に情報や考え、気持ちなどを、表現したり伝え合ったりしようとしている。</li> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に他者の話を聞くことができる。</li> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に自己の考えを発言することができる。</li> </ul>

**観点別学習状況の評価 教科：【家庭】 科目：【家庭総合】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとしている。自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとしている。

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むための科学的な理解を深めるとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとしている。生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとしている。

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	衣食住や消費生活についての理解が不足している。基礎的・基本的な技術が身に付いていない。	衣食住や消費生活について理解し、基礎的・基本的な知識や技術が身に付いている。	衣食住や消費生活について科学的に理解し、実生活に活かせる知識・技術が身に付いている。
思考・判断・表現	生活の中から課題を見だし、解決策を考えることができない。他者の意見を聞くことはできるが、自分の考えを表現していない。	生活の中から課題を見だし、解決策を考えることができる。考えたことをまとめ、自分と他者の意見を比較することができる。	生活課題を設定し、解決策を考え実践することができる。考えたことを分かりやすく伝え、他者の意見を受けて自分の考えを深めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	実習で指示に従うことはできるが、自分から進んで取り組むことができない。自らの生活を客観的に振り返ることができない。	自分の役割を理解し、他者と共に実習に取り組むことができる。自らの生活をよりよくするためにできることを考え実践しようとしている。	他者と協働しながら能動的に実習に取り組むことができる。自らの生活をよりよくするためにできることを考え実践したり、将来の生活に活かそうとしている。

**観点別学習状況の評価 教科：【 情報 】 科目：【 情報Ⅰ 】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけていると共に、情報社会と人との関わりについて理解する。
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
思考・判断・表現	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	コンピュータの基本的な操作と機能について身につけていない。	コンピュータの基本的な操作と機能を概ね理解している。	コンピュータの基本的な操作と機能を理解し、様々な報告書を作成できる。
思考・判断・表現	情報通信技術に関する問題の発見と解決について、理解しようとしていない。	情報通信技術に関する問題の発見と解決について、情報の提供に対する要求を分析し、表現するが、評価・改善に至っていない。	情報通信技術に関する問題の発見と解決について、情報の提供に対する要求を分析し、表現し、評価・改善できる。
主体的に学習に取り組む態度	自ら学び、情報通信技術の提供と活用について主体的かつ協働的に取り組んでいない。	自ら学び、情報通信技術の提供と活用について主体的かつ協働的に取り組む姿勢がある。	自ら学び、情報通信技術の提供と活用について主体的かつ協働的に取り組んでいる。

**観点別学習状況の評価 教科：【 商業 】 科目：【 簿記 】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術をみにつける
思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠にもとづいて創造的に課題に対応する力を養う
主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指してみずから学び、適性な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	簿記に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身につけている
思考・判断・表現	簿記をはじめとしたさまざまな知識・技術などを活用し、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することにもなう課題を見いだすとともに、会計情報が社会におよぼす影響をふまえて、簿記に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠にもとづいて工夫してよりよく課題に対応することができる
主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指してみずから簿記について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	取引の記帳について理解が不十分であり、技術も身につけていない。	取引の記帳についておおむね理解するとともに、関連する技術についてある程度身につけている。	取引の記帳について理論と実務を関連付けて理解するとともに、関連する技術を身につけている。
思考・判断・表現	取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだすことができず、課題に対応することができない。	取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、課題にある程度対応することができる。	取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、課題に対応することができる。
主体的に学習に取り組む態度	取引の記帳について進んで学習せず、適正な会計帳簿の作成に取り組もうとしていない。	取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成にある程度取り組もうとしている。	取引の記帳について自ら学び、適正な説明帳簿作成に主体的に取り組もうとしている。

**観点別学習状況の評価 教科：【 商業 】 科目：【 情報処理 】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける
思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえた合理的かつ創造的な解決する力を養う
主体的に学習に取り組む態度	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指し自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている
思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	コンピュータの基本的な操作と機能について身につけていない	コンピュータの基本的な操作と機能を概ね理解している	コンピュータの基本的な操作と機能を理解し、様々な報告書を作成できる
思考・判断・表現	ビジネスに関する問題の発見と解決について、理解しようとしていない	ビジネスに関する問題の発見と解決について、情報の提供に対する要求を分析し、表現するが、評価・改善に至っていない	ビジネスに関する問題の発見と解決について、情報の提供に対する要求を分析し、表現し、評価・改善できる
主体的に学習に取り組む態度	自ら学び、情報の提供と活用について主体的かつ協働的に取り組んでいない	自ら学び、情報の提供と活用について主体的かつ協働的に取り組む姿勢がある	自ら学び、情報の提供と活用について主体的かつ協働的に取り組んでいる

**観点別学習状況の評価 教科：【総合】 科目：【基礎学習Ⅱ】**

**【学習指導要領に示された各教科の観点別評価】**

知識・技能	企業等で使用する文書の作成を実務的に理解するとともに、素早く文字の入力し処理する技術を身に付けている。
思考・判断・表現	企業用の文書を正しく入力・編集し完成させられる、正しい日本語の入力・変換・作成する能力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に情報機器を利用し、与えられた課題に進んで取り組んでいる。自分だけでなくクラスの状況により、問題の解決に協力ができる。

**【学習指導要領に示された各科目の観点別評価】**

知識・技能	企業等で使用する文書の作成や文字の入力について実践的に理解するとともに処理する技術を身に付けている。
思考・判断・表現	文書の作成過程において課題を解決しながら完成させ、適切な文字の入力と一定速度での処理能力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自ら進んで課題に対して集中し積極的に取り組んでいる。手間取っている友人に対して処理や入力のアドバイスをしている。

**【観点別評価基準】**

	C (努力を要する)	B (おおむね満足できる)	A (十分満足できる)
知識・技能	書類作成の編集機能を理解していない。文字の変換ができない。	書類作成の編集機能を一定程度、理解できている。文字の変換がほぼ、間違いなく変換できる。	書類作成の編集機能を理解し完成できる。正しい文字の変換ができる。
思考・判断・表現	正しい日本語の入力ができない。適切な文字の配置ができない。	おおむね日本語の入力・変換ができる。適切な文字の配置が一定量できる。	正しい日本語の入力ができる。文字が適切な場所に配置されている。表の作成ができる。
主体的に学習に取り組む態度	自ら課題に対して取り組もうとしない。分からない内容に関して質問をしない。	通常の授業態度で課題に対して取り組んでいる。	積極的に課題に対して取り組んでいる。不明な点について自分からきちんと質問をして問題解決に努めている。